

国語科 8年生 単元名『俳句をつくろう』授業実践・授業研修	
日時	5月29日(水) 3時間目、5時間目
授業者	山川 要
本時のねらい	友達の意見を参考に、自分の作品をより心情、情景が伝わるように工夫することができる。
単元・題材計画	短歌の世界……………3時間 短歌十首 ……………3時間 俳句をつくる……………3時間(本時2/3)
授業の実際 (本時の流れ)	今までの単元で学習してきた短歌、俳句の知識をもとに、前時に個人で俳句を完成させた。本時は俳句のポイントを確認したうえで、グループでそれぞれの作品の良さ、改善点を話し合った。その後、よりよい作品にするため、グループでもらった意見をもとに、作品の変更の検討や吟味を行った。最後に、自分の学びを深めることができたか、振り返りを行った。
事後協議の概要	協議会の中では、グループでの話し合いにおいて、深い学びになっているかどうか、グループでばらつきがあったため、考えを深めるための教員の言葉かけが大切である。また、生徒が俳句をつくる際の目的や、こだわるべきところをより明確にすべきである。そして、授業最後の振り返りを含めて、グループで話し合ったことを、全体共有する際に、授業者の発問や働きかけの工夫をすることにより、さらに考えを深め、広げることができる。などの意見があった。短い字数で自分の気持ちを表現するという俳句のもつ特徴により、自分の作品にこだわりをもちながら表現する姿が見られた。

